

新製品



## デジタルで変える“高速”と“エコ”が両立するものづくり ワイヤ放電加工機「AL i Groove + Edition」シリーズ

「AL i Groove + Edition」シリーズは、ワイヤ放電加工の本質である放電回路と制御の大幅な改善に取り組み、加工速度20%向上と加工精度向上の両立を実現いたしました。また、消費電力量の20%削減や、ワイヤ消費量の削減など、環境に配慮した機械です。さらに、自動化対応や操作性向上など、お客様のさまざまなご要望に応える優れた製品であり、日刊工業新聞社主催の「2022年（第65回）十大新製品賞」本賞を受賞しました。

今回で十大新製品賞は5年連続の受賞となります。これからもお客様の声に耳を傾け、進化するものづくりへ貢献できるような製品の開発に邁進してまいります。



▲「AL600G i Groove + Edition」

新製品

## 造形サイズの“大型化”と“稼働率向上”を実現 金属3Dプリンタ「LPM450」の販売開始



▲ 金属3Dプリンタ「LPM450」

「LPM450」は、従来機 OPM/LPM シリーズを使われているお客様の声を受け、「造形サイズ拡張」「多品種粉末の造形対応」「使いやすさ向上」の3つをテーマに開発いたしました。

独自開発の粉末材料を用いることにより、最大容積で従来機種比5.8倍の大型サイズの安定造形を可能にするとともに、高速高品質造形ができるよう、デュアルレーザーを標準搭載し、オプションでクワッドレーザーもそろえました。また、レーザー加工時に発生する金属蒸気の集積物（ヒューム）の回収装置により、メンテナンス頻度を従来機種の約半分に削減し、稼働率向上も実現しました。

今後、製造業において活用規模拡大が見込まれる3Dプリンタ造形市場で、当社の独自性を活かし積極的に展開していきます。

新製品

## 制御精度や利便性を高めた新機種 電動式射出成形機「MS G2」シリーズ販売開始



▲「MS G2」シリーズ

「MS G2」シリーズは、電動式射出成形機「MS」シリーズの後継モデルとして、従来機の高精度な繰り返し安定性、生産性向上、省エネ効果、IoT対応をそのまま継承しつつ、制御精度や利便性を高めた次世代の射出成形機です。独自機構「eV-LINE®システム」による可塑化やサーボモータ駆動とする方式で、安定した高精度の成形が可能となり、新コントローラーや高精度温度システムを使用し、制御精度向上と温度制御を実現しました。また、スマートフォン感覚で使える操作パネルや条件設定を容易にするための成形支援機能も搭載し、利便性も高めました。国際安全規格ISO20430（JIS B 6711）にも準拠しています。



## 「ネオマザール」が「超”モノづくり部品大賞” 機械・ロボット部品賞を受賞

調理麺製造ライン用自動麺ほぐし・調味機「ネオマザール」が、モノづくり日本会議/日刊工業新聞社主催の『第19回/2022年“超”モノづくり部品大賞』において、機械・ロボット部品賞を受賞しました。

今回の受賞は、従来手作業で行っていた調理麺製造におけるソースなどの調味液等添加・攪拌工程を無人化することで、雑菌及び異物混入のリスクを低減し、鮮度延長によるフードロス削減、省人化によるコスト削減、高度な清掃性を実現したことが評価されたものです。

今回の受賞を励みに、今後もお客様の製造ラインに最適なソリューションをトータルで提供すべく、よりよい製品の開発に邁進してまいります。

モノづくり  
部品大賞

▲ 調理麺製造ライン用自動麺ほぐし・調味機「ネオマザール」

## リアル会場が復活！世界最大級の展示会に出展しました

当社は世界四大工作機械見本市である「JIMTOF2022」（東京）及び「IMTS2022」（米国・シカゴ）、プラスチック・ゴムに関する世界最大級の見本市である「K2022」（ドイツ・デュッセルドルフ）に出展し、当社の新製品をPRしました。

数年ぶりのリアル開催となった展示会でしたが、十分な感染予防対策を講じたうえで、新製品の紹介やデモンストレーションを行いました。

### JIMTOF2022 出展レポート



2020年のオンライン開催を経て、4年ぶりのリアル開催となった今回は、世界22か国・地域から1,086社が出展し、約11万4千人の来場者が訪れました。ソディックの出展コンセプトは、「SDGs」「DX」「スピード」を支える技術の提案です。出展物のほとんどが初出展となる新製品・新技術で、多くのお客様にご来場いただき、大好評な展示会となりました。



東展示棟のブースでは、放電加工機、マシニングセンター等を中心に新製品も含めた8機種を展示しました。



南展示棟は、金属3Dプリンタや関連技術を紹介する特別企画「Additive Manufacturing エリア」。ソディックブースでは、金属3Dプリンタの最新2機種と多数の加工サンプルを展示しました。

## 中国市場の開拓加速！ 中国華南テックセンター及び廈門新工場稼働開始

### 中国におけるアフターサービスの向上と体制を強化

このたび、中国・広東省東莞市に、技術サポート及びアフターサービスを提供する「Sodick 中国華南テックセンター」を設立し、2022年7月より本格的に稼働を開始いたしました。

近年、同地区での販売増加と既存ユーザー数の拡大に対応すべく、アフターサービスのさらなる質の向上と体制強化を目的としており、ショールーム機能、各種教育、技術サポートを担う施設としては、同地区で最大規模となります。今後は、中国におけるブランドイメージの向上とマーケットシェアのさらなる拡大を目指します。



▲ Sodick 中国華南テックセンター

### 世界的な市場競争力をさらに強化

中国の製造子会社である沙迪克（廈門）有限公司においては、産業機械事業及び食品機械事業の世界的な市場競争力のさらなる強化のため、新工場が完成し、2023年1月より稼働を開始いたしました。

新工場での生産品目は、射出成形機と食品機械で、射出成形機は月産100台の生産能力を有し、食品機械はすでに生産している製麺機に加えて米飯装置等の生産品目を追加します。

なお、新工場では、当社が取り組んでいるIoT・DXの活用による生産現場全体の最適化、「スマートファクトリー」の実現を推進し、さらなるコスト削減、納期短縮を目指します。



▲ 廈門新工場

